

荘内だより

荘内病院
臨床研修
通信 Vol. 1
2016. 8 発行

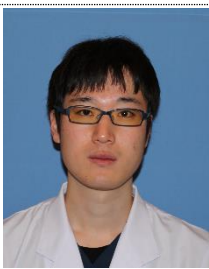
～創刊にあたって～ 臨床研修委員会委員長 鈴木 聡

荘内病院初期研修医とその卒業生（先輩）の皆さんを繋ぐ情報誌「荘内だより」が発刊されました。卒業生の皆さん、それぞれの勤務先で忙しく活躍されていることと思います。「荘内だより」は、今後そんな皆さんの活躍や荘内病院研修医の研修風景、病院のイベントなどを掲載していきます。今回は、荘内病院2年目研修医3名の紹介です。また昨年卒業された先輩2名からうれしい近況報告も届いています。「荘内だより」は年に2回程度発行を予定しています。皆さんの自由な投稿をお待ちしています。



2年目研修医を紹介します！

- ①出身大学
- ②自分を表す漢字1字とその理由
- ③私の趣味・特技 ④あなたの小さな幸せは
- ⑤鶴岡のココが好き
- ⑥10年後の自分に聞きたい事またはメッセージ
- ⑦これからの意気込み



齋藤 浩一先生

協力型・新潟大学医歯学総合病院

- ①山形大学
- ②「走」学生の時は陸上部だった。これからもマラソンのように頑張りを続けていきたいから
- ③書道、マリオ64RTA

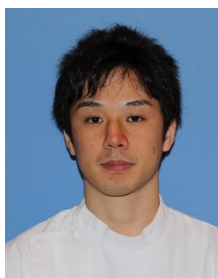
- ④毎日の弁当
- ⑤美味しいものがたくさんあるところ
- ⑥ほどほどに真面目に働いて、家庭もそこそこいて奥さんを怒らせないで下さい
- ⑦よく食べ、よく遊び、たくさん手術をして頑張ります



櫻井 裕基先生（基幹型2年目）

- ①新潟大学
- ②「天」誰もいなくとも、天が自分を見ていると思いながら生活しています。
- ③絵を描くこと、美術館へ行くこと、ロードバイク旅行、美味しいものを食べること

- ④美味しいもの(店)を発見したときの幸福感
- ⑤歴史と雄大な庄内平野から生まれる美食
- ⑥特にありません
- ⑦世界で一番手術が上手になりたいと思っています



赤羽根 健太郎先生

協力型・山形大学医学部附属病院

- ①山形大学
- ②「健」名前の一文字、体も丈夫だから
- ③野球観戦 ④睡眠
- ⑤ご飯が美味しい
- ⑥勉強していますか

- ⑦研修頑張っていきます

2016年度研修医はフルマッチです！（プロフィールの詳細は次号に掲載予定です）

1年目の研修医の皆さんです（出身大学）

1. 工藤俊之介 先生(新潟大学)
2. 佐藤和彦 先生(新潟大学)
3. 佐藤みさお 先生(山形大学)
4. 鈴木優太 先生(山形大学)
5. 千葉春輝 先生(山形大学)

先輩の声

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

北村 卓也 先生(2014年4月～2016年3月研修)



荘内病院で2014年4月～2016年3月まで研修させていただきました北村と申します。今改めて、荘内病院での研修生活を振り返りますと、指導医の先生方や看護師さん、同期の仲間など本当に多くの人に支えられ研修を修了することが出来たことを実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。



本年4月からは母校である琉球大学の形成外科に所属し、現在は沖縄県立南部医療センター・こども医療センターという病院で働いております。赴任当初は病院内で道に迷ったり、手術器具や薬・点滴の名称の違いに戸惑ったりしていましたが、最近は大分慣れてきたところです。当院は3次救急病院で、救急外来には1日100人前後、休日には150人程の患者さんが受診します。病院名に'こども'とあるように、医師の半数近くは小児科医で、救急外来患者の7割は20歳以下です。そのため小児の顔面骨骨折や、傷の縫合で救急外来に呼ばれることが多く、また普段の手術も小児の先天性奇形などが多い印象です。

まだまだ学ぶことがたくさんありますが、沖縄の青い海、青い空のもと頑張っていきたいと思います。



国立病院機構 九州医療センター

前田 向陽 先生(2014年4月～2016年3月研修)



初期研修終了から2か月、院内 PHS で「研修医前田です」と言いかけることもなくなり、堂々と「整形の前田です」と名乗れる様になりました。4月から九州大学整形外科に入局し、今年度は福岡市の九州医療センターに勤務、そして市内の医局関連病院の当直バイトをしながら、整形外科医としての修行に励んでいます。

九州医療センターは、病む人の立場に立って安全かつ最適な医療を提供(病院ホームページ Top より)しており、玄界灘に臨む医療の拠点(病院ホームページ Top より)として、一刻を争う医療の限界を極めて(病院ホームページ Top より)、あらゆる治療の可能性をあきらめない(病院ホームページ Top より)、そんな病院だそうです。ベッド数702床に対して医師279名(内、レジデント73名、初期研修医62名)、荘内病院の先生方がいかに過酷な環境下で勤務されているのか、数字上でも実感しました。

プライベートでは、20年ぶりに故郷九州での生活ということで、街へ、海へと楽しく過ごしています。今回の転居に反対していた子供たちも、今ではすっかり博多弁で安心しています。中身のあるような無いような文章で終わってしまいましたが、要はお蔭さまで楽しく元気に過ごしています。

写真は医局から見えるヤフオク! ドームです。7回裏に窓を開けると、応援歌が聞こえてきます。私の帰宅時間が試合終了に重なった場合、帰り道を誤ると人込み渋滞に巻き込まれます。



先輩の皆様のお便りをお待ちしています。また、連絡先が変更になった場合もご連絡をお願いします。

連絡先：鶴岡市立荘内病院臨床研修委員会 臨床研修秘書 伊藤 電話0235-26-5111